

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	ゲノムを支える非コードDNA領域の機能
領域代表者	小林 武彦（国立遺伝学研究所・細胞遺伝研究系・教授）
研究期間	平成23年度～平成27年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、非コードDNA領域に特徴的に存在するDNA配列、クロマチン構造、そしてそれらの相互作用ネットワークに着目し、染色体制御システムを解明しようとするものであり、時宜を得た意欲的な提案であると評価できる。配列、クロマチン構造、ネットワーク、病態と4つの階層構造で各々重要なテーマを配しており、研究組織は若手を中心に優れた研究者から構成されている。テクノロジー・ハブの提案やデータベースの共有など領域内における連携に向けた工夫がみられ、若手研究者の育成等にも十分に配慮されている。本領域の推進により、染色体諸機能を統合的に支える非コードDNA領域の機能について、これまで不明であった生命現象メカニズムや疾患の原因等が明らかになることが期待される。</p>